

萩生田文部科学大臣が災害科学国際研究所を視察（2020/12/9）

テーマ：東日本大震災、減災社会、災害と人間

場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）

2020年12月9日（水）、萩生田文部科学大臣が災害科学国際研究所（IRIDeS）を視察され、今村文彦所長による研究所紹介、東日本大震災の被災と復興に関する3D映画（短縮版）上映、蝦名裕一准教授（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）による歴史関連資料説明を行いました。

まず今村所長が当研究所の設立経緯・理念・組織構成、様々な研究活動、津波メカニズム等について紹介し、続いて被災地の記録である3Dドキュメンタリー映画「大津波 3.11 未来への記憶」（今村所長監修）5分短縮版を上映しました。最後に蝦名准教授が、震災で被災した歴史資料の保全・修復や文理融合型の歴史災害研究について説明を行いました。萩生田大臣より、当研究所の災害研究活動に対して多くの質問やコメントをいただきました。



今村所長発表の様子



蝦名准教授による説明の様子

文責：災害科学国際研究所広報室